



キラリひと言

前向きに



緒方町越生

五郡正之

昨年の合併から1年半が経過しました。

昨今よく耳にする言葉が、「合併したが何もないことがないの」と。はたして本当にそうでしょうか。

旧町村が借金を抱え、毎年増加傾向の財政では、遠からず北海道の「夕張市」と同じ行政運営に陥り、「緒方五千石祭」や「チューリップフェスタ」などのイベントはもちろんのこと、全ての面で今まで以上の痛みを被るでしょう。

合併に際しては、大変な苦労があったでしょうが、合併後の今が大事と

思っております。

中長期的な政策の重要性は当然ながら、短いサイクルで変化する日本の「経済」「行政」に対応すべく、役所関係の方々、市議会議員の方々のさらなる自己啓発を希望いたします。

また、我々市民も、後ろを振り向かず、前向きに考え、少しでも行政に参画し、より良い我が故郷「豊後大野」を創りましょう。

子どものために、孫のために、将来のために。



▲毎年盛大に行われる緒方五千石祭



中国湖北省荊州区

歴史の国 中国へ



▲調印後、張荊州区長と堅い握手を交わす

友好都市の締結のため、芦刈市長、若松議長ほか15名が、9月30日から中国の湖北省荊州区への訪問を行い、さらなる友好関係の発展と日中両国民の相互理解や交流、経済協力など、より一層深めることを確認しました。

表紙の説明

おおのまち42.195キロ歩こう大会

10月8日(日)正午、県庁前広場を出発し、大野支所までの42.195kmをひたすら歩きました(191人が参加し、134人がゴール)。



▲出発前の県庁広場